



令和6年9月2日  
大臣官房参事官（上下水道技術）  
（上下水道審議官グループ）

## 令和6年度 上下水道科学研究費補助金の採択課題の決定

～上下水道分野における技術革新を推進します～

国土交通省では、大学等の研究者を対象に公募を実施した、上下水道科学研究費補助金※の新規課題2件を採択しました。

※上下水道分野の技術革新を推進していくため、大学や民間企業等の先駆的な技術提案を公募し、優れた科学研究を採択・助成する競争的研究費制度です。

- ・国土交通省では、本年6月に、大学や民間企業等を対象に、（1）水道施設・下水道施設から発生する汚泥の有効利用に関する研究、（2）下水道に関わる効率的な水処理システムの研究について研究課題を公募しました。
- ・有識者等からなる評価委員会における審査の結果、以下のとおり、新規課題2件を採択しました。

【公募テーマ】	【新規課題】
（1）水道施設・下水道施設から発生する汚泥の有効利用に関する研究	1件（6件）
（2）下水道に関わる効率的な水処理システムの研究	1件（5件）

（ ）は応募件数

（別紙）採択課題一覧

<問い合わせ先>

大臣官房参事官(上下水道技術)（上下水道審議官グループ）

課長補佐 長谷川、技術係長 辻

TEL：03-5253-81111 [内線：34323、34318] 03-5253-8432(直通)

<採択課題一覧>

(1) 水道施設・下水道施設から発生する汚泥の有効利用に関する研究

研究課題名（概要）	研究代表者
<p><b><u>上水汚泥の添加による下水直接膜ろ過のアップグレード</u></b>            （概要）            下水処理場のカーボンニュートラル化を達成するため、下水中有機物の高効率回収と N<sub>2</sub>O 発生を根絶を同時に達成できる新しい下水処理システムを開発する。            上水汚泥の添加で高効率化された下水直接膜ろ過を前処理とし、膜コンタクターの適用により下水中アンモニアを未反応のまま回収して N<sub>2</sub>O 発生を原理的に根絶する。</p>	北海道大学大学院 工学研究院環境工学部門 教授 木村克輝

(2) 下水道に関わる効率的な水処理システムの研究

研究課題名（概要）	研究代表者
<p><b><u>バイオポリマー高速除去装置を活用した新規ファウリングフリー MBR の開発</u></b>            （概要）            膜分離活性汚泥法（MBR）ではバイオポリマーによる膜ファウリングが問題であり、回転繊維ユニット生物接触法（mRBC）をバイオポリマー除去装置として活用することで、バイオポリマー分解酵素の活性化により膜ファウリングがほとんど発生しない MBR（ファウリングフリー MBR）の確立を目指す。</p>	中央大学 理工学部 助教 角田貴之